

## ＜調査結果の概要＞

### 1) 回収率

居住区毎の回答数および回答率は、以下のとおりである。  
全体としては43.1%の回収率であった。

居住区	回答数	回答率
北	425	42.5%
東	429	42.9%
中央	440	44.0%
江南	433	43.3%
秋葉	429	42.9%
南	378	37.8%
西	453	45.3%
西蒲	418	41.8%
無回答	46	4.6%
合計	3,451	43.1%

### 2) 回答者の属性

回答者の属性は、下表のとおりである。

性別	回答数	回答率
男	1,491	43.2%
女	1,931	56.0%
無回答	29	0.8%
合計	3,451	100.0%

年齢	回答数	回答率
20代	312	9.0%
30代	488	14.1%
40代	543	15.7%
50代	673	19.5%
60代	715	20.7%
70代以上	698	20.2%
無回答	22	0.6%
合計	3,451	100.0%

職業	回答数	回答率
会社員	943	27.3%
公務員	162	4.7%
自営業	322	9.3%
パート・アルバイト	393	11.4%
主婦	655	19.0%
学生	55	1.6%
無職	767	22.2%
その他	123	3.6%
無回答	31	0.9%
合計	3,451	100.0%

世帯構成	回答数	回答率
単身(一人世帯)	254	7.4%
夫婦のみ	771	22.3%
二世帯世帯	1,498	43.4%
三世帯世帯	570	16.5%
その他	315	9.1%
無回答	43	1.2%
合計	3,451	100.0%

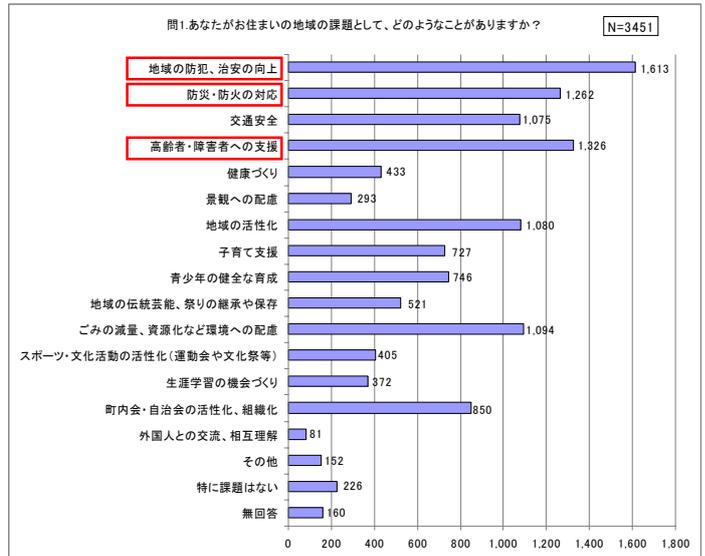
居住年数	回答数	回答率
1年未満	107	3.1%
1年以上5年未満	364	10.5%
5年以上10年未満	274	7.9%
10年以上20年未満	569	16.5%
20年以上30年未満	638	18.5%
30年以上	1,471	42.6%
無回答	28	0.8%
合計	3,451	100.0%

### 3) 主な設問の結果

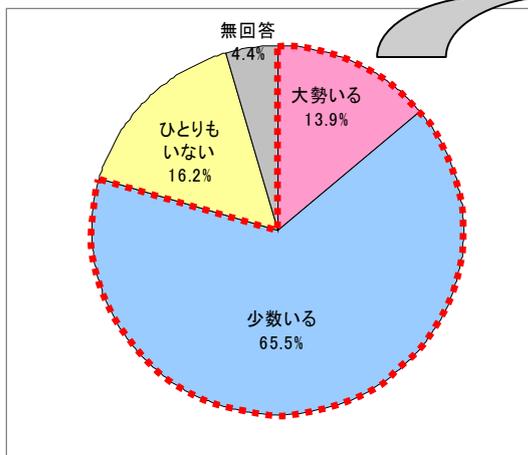
#### ■問1：あなたがお住まいの地域の課題として、どのようなことがありますか？（5つまで選択）

- 地域の課題として、「防犯・治安の向上」が最も多く、約半数が選択している。
- 次いで、「高齢者・障害者への支援」、「防災・防火の対応」を選択する傾向が見られる。
- 優先度の高さについても、概ね同様の傾向が見られる。
- 「地域の活性化」の優先度が高いとする傾向が見られる。

地域の課題	回答数	回答率	最優先	地域の課題	回答数	回答率	最優先
地域の防犯、治安の向上	1,613	46.7%	587	地域の伝統芸能、祭りの継承や保存	521	15.1%	43
防災・防火の対応	1,262	36.6%	310	ごみの減量、資源化など環境への配慮	1,094	31.7%	171
交通安全	1,075	31.2%	178	スポーツ・文化活動の活性化(運動会や文化祭等)	405	11.7%	25
高齢者・障害者への支援	1,326	38.4%	448	生涯学習の機会づくり	372	10.8%	24
健康づくり	433	12.5%	58	町内会・自治会の活性化、組織化	850	24.6%	129
景観への配慮	293	8.5%	27	外国人との交流、相互理解	81	2.3%	9
地域の活性化	1,080	31.3%	388	その他	152	4.4%	85
子育て支援	727	21.1%	220	特に課題はない	226	6.5%	7
青少年の健全な育成	746	21.6%	126	無回答	160	4.6%	615

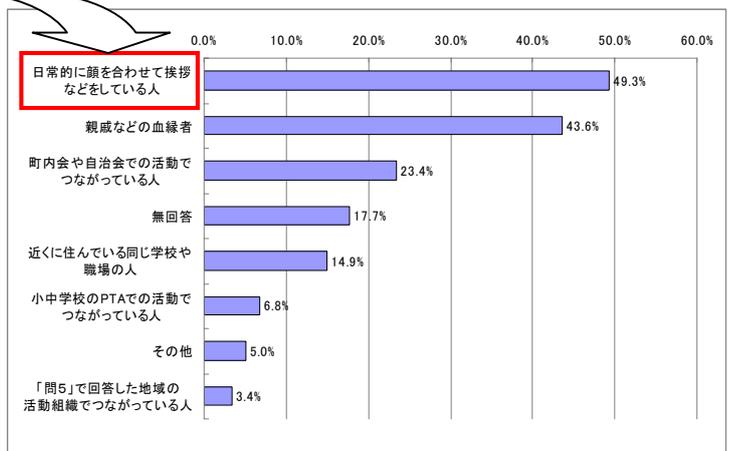


#### ■問6：あなたは、お住まいの地域で、いざというとき助け合える人や、信頼して相談できる人がいますか？(SA)



地域内で助け合える人	回答数	回答率
大勢いる	479	13.9%
少数いる	2,261	65.5%
ひとりもない	560	16.2%
無回答	151	4.4%
合計	3,451	100.0%

#### 「いざというとき助け合える人」は、どのようなつながりの人ですか？(MA)



地域内で助け合える人	回答数	回答率
日常的に顔を合わせて挨拶などしている人	1,705	49.3%
親戚などの血縁者	1,506	43.6%
町内会や自治会での活動でつながっている人	808	23.4%
近くに住んでいる同じ学校や職場の人	515	14.9%
小中学校のPTAでの活動でつながっている人	235	6.8%
地域の活動組織でつながっている人	119	3.4%
その他	173	5.0%
無回答	610	17.7%

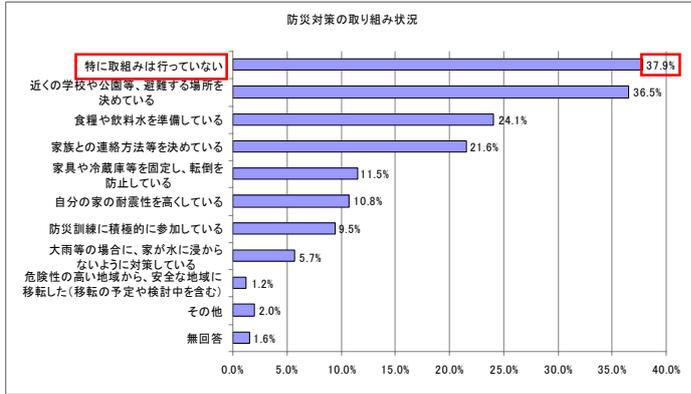
- 「大勢いる」もしくは「少数いる」とする回答が約80%を占めている。
- いざというときに助け合える人は、「日常的に顔を合わせて挨拶などをしている人」というつながりが最も多く、約半数が選択している。

■問9：災害時に自分や家族の命を自ら守るために、現在、どのような取組みを行っていますか？

(MA)

■災害時に自分や家族の命を自ら守るために、どのような取組みを行っているかについて、調査した結果、「特に取組みを行っていない」とする回答が最も多く、40%以上の結果となった。

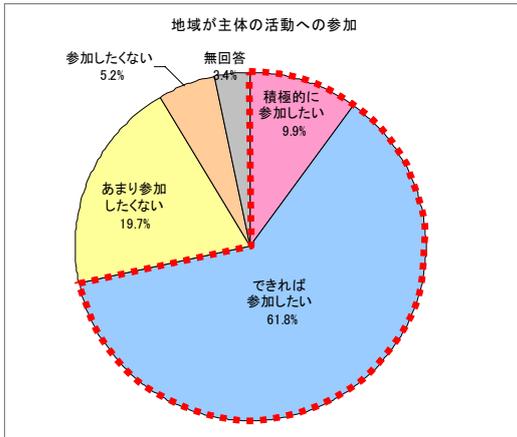
■H19年に行われた世論調査での同項目の選択結果と比較して「取組みを行っていない」割合が高く、またその他の取組みも世論調査結果と同等以下の状況である。



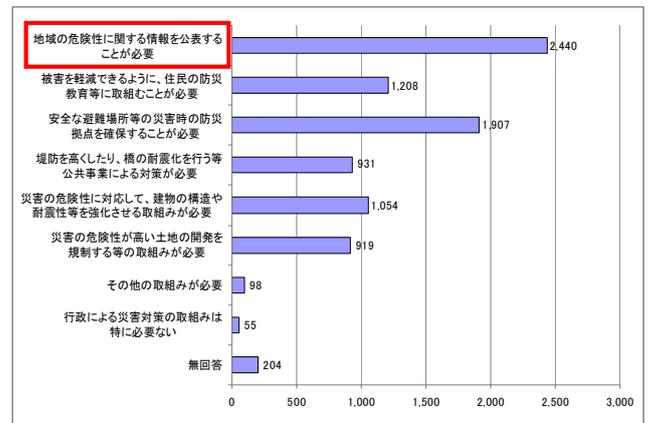
防災対策の取組み状況	回答数	回答率	最優先	世論調査結果※
特に取組みは行っていない	1,307	37.9%	10	13.5%
近くの学校や公園等、避難する場所を決めている	1,260	36.5%	515	33.5%
食糧や飲料水を準備している	832	24.1%	481	36.0%
家族との連絡方法等を決めている	748	21.6%	363	25.6%
家具や冷蔵庫等を固定し、転倒を防止している	396	11.5%	119	24.3%
自分の家の耐震性を高めている	371	10.8%	166	10.9%
防災訓練に積極的に参加している	332	9.5%	139	12.5%
大雨等の場合に、家が水に浸らないように対策している	197	5.7%	32	—
危険性の高い地域から、安全な地域に移転した(移転の予定や検討中を含む)	41	1.2%	23	—
その他	70	2.0%	21	—
無回答	54	1.6%	1582	—

※「地震防災対策に関する特別世論調査」(H19.11) 内閣府

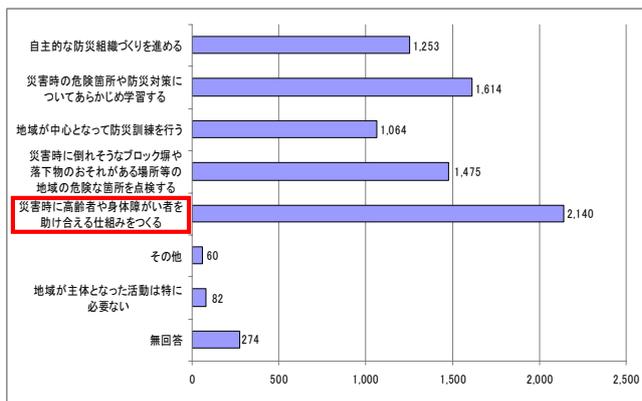
■問15：あなたは、今後、地域が主体となって安全・安心まちづくりの活動を行う場合、参加したいと思いますか？(SA)



■問18：災害に対する行政の取組みとして、どのような取組みが必要とお考えですか？(MA)



■問19：安全・安心まちづくりに向けて、地域住民が協力し主体となってどのような活動を行うべきとお考えですか？(MA)



■問20：安全・安心まちづくりに向けた地域活動に対して、行政はどのような支援を行うべきとお考えですか？(MA)

